

2019 FIM SUPERBIKE WORLD CHAMPIONSHIP World Supersport Round 2 Pirelli Thai Round Race Report

好調をキープする大久保 光 予選ベストリザルトの4番手、セカンドローから初優勝を目指す

スーパーバイク世界選手権 (WorldSBK) Round 2 がタイのChang International Circuit で開幕。今大会に臨むにあたり、初戦を終えた大久保は一旦日本に帰国。自身の課題を克服すべくホームコースで精力的にトレーニングに励み、得意とするこのタイラウンドで初表彰台を獲得すべく全力で調整を行ってきた。

連日30度を越えるChang International Circuit。レースウィーク初日より、これまでの良い流れとトレーニングの結果が発揮され、FP1は5番手、FP2を9番手と安定してシングルポジションをキープ。土曜日のFP3はウィークベストタイムの1分37秒929を記録し5番手と勢いに乗ってTissot Superpoleへ臨む。

そして午後1時40分、気温34度、湿度44%の中Superpoleがスタート。開始直後2周目に1分37秒304を記録し一時3番手を確保、その後すぐ様ピットインし状況を観察。残り10分を切った所で再コースインし、更なるタイムアップを目指す。アタック中、4コーナー進入でマシンが暴れオーバーランを喫してしまうが、なんとかコースにマシンを戻す。その後も果敢に攻め続けラップタイムを削る。結果、7周目に1分37秒106を記録し、自身ベストタイムを大幅に更新。World Supersportに参戦し、予選ベストリザルトの4番手を獲得。またしてもkawasaki勢トップ、セカンドローより自身の初優勝を目指し明日の決勝を戦う事となった。

■大久保 光

「正直、全てのセッションでTOP3を狙っていたので悔しいのが率直な感想です。タイラウンドを見据え、前戦で見た新たな課題を克服すべく、私のホームコースである桶川サーキットでトレーニングを積んで今大会に臨みました。これまでの限界を超える走りを目指し、色々な事を試しました。多くの転倒も経験しましたが、代わりに得られた事も非常に多かったです。その結果が、今回のラップタイムの大幅な向上に繋がっていると思います。ただ、想像以上に周りもペースアップしており、なかなか状況は厳しいですね。昨年より0.8秒のタイムアップを果たしているのでトレーニングの結果も確実に出ていると思いますが、アベレージタイムが上がった事によって新しい課題が出来ました。なんとか明日のウォームアップで修正出来ればと思います。タイム的にはトップとはコンマ3秒内なので十分に勝負出来る範囲です。初の優勝を目指して全力で戦います。皆さま、応援宜しくお願い致します。」



Kawasaki Puccetti Racing

Website / <http://www.puccettiracing.it/wordpress/>

Kawasaki Puccetti Racing PuccettiRacing puccettiracing

Hikari Okubo Official Account

Website / <http://www.hikariokubo78.com/>

hikariokubo78 hikari_No78 hikariokubo78